

公共事業の品質確保と入札契約制度

首都東京から北東へ約100kmに位置する水戸市は、茨城県の県庁所在地であり、26.5万人の人口と217.43km²の面積を有しています。

水戸市は、今年、市制施行120周年、そして、水戸藩開藩400年を迎えます。

水戸のまちの原形は、慶長14年（1609）に徳川家康公の第11男頼房公が入府され、水戸藩初代藩主として治世に当たられた時代に形づくられ、明治22年（1889）4月1日に、水戸市は、全国30市とともに日本で最初に市制を施行しました。

時代の流れの中で、国の産業政策や地の利という要因があったにせよ、それらの都市の多くは、政令指定都市や中核市、特例市となり、それぞれの都市圏におけるリーダーとしての位置づけを確固たるものとしています。現在、世界的な景気の悪化が進み、GDP（国内総生産）のマイナス成長が明らかとなるなど、経済危機と言われる中で、それらの地方都市においても、都市規模にかかわらず、非常に厳しい状況となっており、本市も例外ではありません。

しかしながら、歴史を振り返れば、江戸期における数次の藩財政難、明治、大正期の不況、そして、戦後の混乱など、今以上に厳しい状況にありながらも、先人たちはそれらの苦難を努力の積み重ねによって乗り越え、まちを発展させてきました。

私は、先人の築いてきた歴史の中から、厳しい状況も努力によって必ず乗り越えられることを学び、この記念すべき年を、元気都市再生への新たな

なスタートの年とすべく、全力を尽くしていきたいと考えています。

水戸のまちは、豊かな自然や水戸徳川家ゆかりの史跡などの魅力を有しており、それらの魅力を高めるとともに、先人を敬う心を醸成しながら、未来への飛躍を目指した市制施行120周年記念事業を展開していきます。

その一つとして、観光、そして、スポーツ分野でのにぎわい創出に向けた交流拠点施設の開設を目指します。水戸のシンボル空間である日本三名園の偕楽園、千波湖周辺の魅力を一層高めるため、（仮称）新好文茶屋建設と併せ、水辺空間の一体的な整備を図り、全国から多くの人が集う水戸の人気観光スポットにしたいと考えています。また、現在、改修中である市立競技場については、この秋の完成に向け、隣接する水源池公園と一体となった整備を進めており、陸上競技会をはじめ、ラグビーやサッカーの公式試合等を実施し、多くの市民に夢と感動を提供していきたいと考えています。

また、水戸市周辺においては、北関東自動車道や茨城空港などの広域交通網の整備の進展によって、新たなにぎわい創出の可能性がますます高ま



日本三名園・偕楽園

水戸市長 加藤 浩一



るものと期待されており、それぞれの地域の観光資源や地域特性を生かしながら、滞在型の広域的な観光ルート、観光プランのつくり上げに取り組んでいきます。

さて、表題における本市の公共工事の品質確保と入札契約制度の取り組みについては、平成5年度に一般競争入札制度を導入して以来、対象金額の引下げを実施しながら、一般競争入札の拡大を図ってきたところです。

また、価格と品質確保の観点から、総合評価方式を平成19年度より試行導入しております。これにより公共工事に必要な技術能力の高い請負業者が施工することとなり、工事品質の確保や向上が図られ、工事目的物の性能の向上、超寿命化・維持修繕費の縮減・施工不良の未然防止等による総合的なコスト縮減、及び交通渋滞対策・環境対策・事業効果の早期発現等が期待できると考えています。

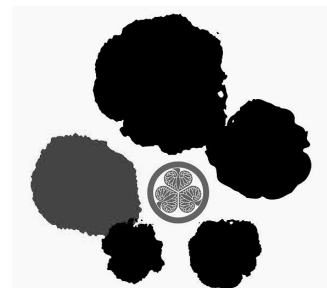
試行における総合評価方式の形式は「簡易型」を採用し、評価項目として「会社の施工能力」「技術者の実績」等を基本に、地元の社会貢献度評価として「災害復旧貢献」を、また平成20年度より新たに「会社における市県民税特別徴収」を評価対象として追加し、「施工計画書」と併せて総合的な評価をしています。

案件ごとに評価項目を設定する必要があること、事務手続きに時間を要することなどの課題もありますが、今後は試行の結果を踏まえ評価項目設定

基準を策定するとともに、地元業者の社会貢献度についても適宜「企業の信頼性・社会性」「地域精通度」「地域貢献度」等の細項目による評価を行いながら、地域特性に沿った総合評価方式の確立と拡充に取り組んでいきます。

また、本年度は入札参加資格申請において、参加者および職員の事務軽減と効率化を図るため、県と市町村が共同で行う茨城県入札参加資格電子申請システムの利用が開始されるほか、入札及び契約手続きにおける公正性の確保と客観性及び透明性の向上を図るため、第三者による入札監視制度を導入していきます。

おわりに、水戸藩開藩400年記念事業は、まさに、観光のまち水戸へと飛躍する絶好のチャンスになるものと確信しています。「徳川博物館」における特別企画展を核として、水戸藩校であった弘道館における関連企画など、魅力ある記念事業の展開に努め、水戸徳川家400年の歴史に触れることのできる観光のまちとして、水戸の名を全国へ発信していきたいと考えておりますので、是非とも多くの皆様のお越しをお待ちしております。



水戸藩開藩 四百年

水戸藩開藩四百年記念シンボル